

「団塊の世代の就業と生活のビジョンに関するフォローアップ調査」  
(調査シリーズ No. 48) の Read me

本アーカイブデータの集計結果は、報告書に記載されている数値と一致します。ただし、報告書の結果と比較する際に注意が必要な箇所については以下に示しました。

### 1. 本調査について

本調査は、2006年10月に実施した「団塊の世代の就業と生活のビジョンに関する調査」(以下「前回調査」という。)の追跡調査として、前回調査の回答者のうち、正社員でかつ60歳定年の適用を受けていると回答した人々を対象に、2008年2月に実施したものです(本調査の回答者は754人)。

なお、前回調査については、「団塊の世代の就業と生活ビジョン調査結果」(調査シリーズ No. 30)として公表しています。

### 2. 前回調査の変数について(変数名:「bq1」～「bq29\_13」)

報告書の集計表(101～329頁)には、本調査と前回調査の集計が掲載されています。本アーカイブデータでは、報告書に掲載されている集計表が再現できるように、前回調査の変数を変数名「bq1」～「bq29\_13」として公開しています。

なお、前回調査の利用上の注意点については、調査シリーズ No. 30 の「Read me」をご覧ください。

### 3. スケール変数とカテゴリ変数における「無回答の扱い」について

スケール変数と、それをカテゴリ化した変数を併せて提供している場合の無回答に相当するケースの扱いは以下の通りです。

スケール変数では、値は「99」「999」「9999」または「99999」とし、値ラベルは「無回答」と定義しており、あわせて欠損値指定をしています。

カテゴリ変数では、値は「9」または「99」とし、値ラベルは「無回答」と定義していますが、報告書に掲載されている集計表が再現できるように欠損値指定をしていません。

本アーカイブデータで提供している SPSS 形式のデータでは、次のようになっています。

区分	無回答の扱い		
	値	値ラベル	欠損値
スケール変数	99, 999, 9999, 99999	無回答	99, 999, 9999, 99999 を欠損値として指定
	該当する変数「sq2_2_1_1」「sq3_4_1」「sq3_4_2」「sq9_1」「q10」「sq18_1_1」「sq18_2_1」「q22_9」「q22_10」「q22_11」「bq2_4」「bsq2_8_2_1」「bsq2_8_2_2_1」「bq3_3」「bsq3_5_1」「bsq3_5_2」「bq5」「bq8_2」「bq9_1」「bq10_2_2」「bq10_3_2」「bq10_3_3」「bq14_4」「bsq17_1」「bq18」「bsq26_1_1」「bsq26_2_1」「bq29_10」「bq29_11」「bq29_12」		
カテゴリ変数	9, 99	無回答	—
	該当する変数「sq2_2_1_1_ca」「sq3_4_1_ca」「sq3_4_2_ca」「sq9_1_ca」「q10_ca」「sq18_1_1_ca」「sq18_2_1_ca」「q22_9_ca」「q22_10_ca」「q22_11_ca」「bq2_4_ca」「bsq2_8_2_1_ca」「bsq2_8_2_2_1_ca」「bq3_3_ca」「bsq3_5_1_ca」「bsq3_5_2_ca」「bq5_ca_1」「bq8_2_ca」「bq9_1_ca」「bq10_2_2_ca」「bq10_3_2_ca」「bq10_3_3_ca」「bq14_4_ca」「bsq17_1_ca」「bq18_ca」「bsq26_1_1_ca」「bsq26_2_1_ca」「bq29_10_ca」「bq29_11_ca」「bq29_12_ca」		



## 5. 詳細カテゴリと集約カテゴリについて

以下の設問に対するカテゴリデータは、調査票の設問で用いられているカテゴリ（詳細カテゴリ）と報告書掲載集計表で用いられているカテゴリ（集約カテゴリ）が異なります。本アーカイブデータでは、報告書に掲載されている集計表が再現できるように、両方のカテゴリデータを公開しています。

問 2-3 雇用形態（変数名：「q2\_3」、「q2\_3\_re」）

区分	カテゴリ（数字は値ラベルの番号）								
	1	2	3	4	5	6	7	8	9
詳細カテゴリ（調査票カテゴリ）	正社員	出向社員	契約社員	嘱託社員	パートタイマー	アルバイト	労働者派遣事業の派遣社員	7以外の派遣社員	その他
集約カテゴリ	1	2	3		4	5			
	正社員	出向社員	契約・嘱託社員		パートタイマー	その他の形態			

## 6. 報告書集計表の誤植について

## (1) 問 2-5 仕事の内容（職業）（変数名：「q2\_5」）

報告書 105 頁の下段に掲載されている問 2-5 の集計表において、表側の「労務作業等の仕事」の数値に誤りがあります。正しい数値は以下の通りです。

	問 2-5 仕事の内容（職業）											
	計	専門的・技術的な仕事	管理的な仕事	事務の仕事	販売の仕事	サービスの仕事	保安の仕事	運輸・通信の仕事	技能工・生産工程の仕事	労務作業等の仕事	その他	無回答
労務作業等の仕事	20 2.9%	0 -	2 10.0%	0 -	2 10.0%	0 -	1 5.0%	3 15.0%	2 10.0%	10 50.0%	0 -	0 -

## (2) 問 5 就職の意向の有無（変数名：「q5」）

報告書 152 頁に掲載されている問 5 の集計表において、表側の「前回調査時での転職経験の有無」の数値に誤りがあります。正しい数値は以下の通りです。

	問5 就職の意向の有無							
	計	すでに次の仕事は決まっている	求職中ですがすぐにでも仕事に就きたい	求職中だが良い仕事がないとすれば慌てて就職する必要はない	ゆくゆくは何か仕事をしたいが現在は特に探していない	仕事をしたいとは思わない	無回答	
前回調査時での転職経験の有無	あり	13 100.0%	0 -	1 7.7%	3 23.1%	6 46.2%	3 23.1%	0 -
	なし	20 100.0%	1 5.0%	2 10.0%	7 35.0%	6 30.0%	4 20.0%	0 -

## (3) 付問 10-1 就業希望年齢までの就業の実現見込み (変数名:「sq10\_1」)

報告書 299 頁に掲載されている付問 10-1 の集計表において、表側の「前回調査時での子どもの有無」の数値に誤りがあります。正しい数値は以下の通りです。

		男性回答者 付問 10-1 就業希望年齢までの就業の実現見込み					
		計	実現すると思う	条件さえ整えば実現すると思う	実現は難しいと思う	何ともいえない	無回答
前回調査時での子どもの有無	あり	572 100.0%	167 29.2%	224 39.2%	80 14.0%	96 16.8%	5 0.9%
	なし	50 100.0%	14 28.0%	13 26.0%	8 16.0%	14 28.0%	1 2.0%

## (4) 問 14 60歳台で希望する雇用・就業形態⑥66歳の時 (変数名:「q14\_6\_1\_ma」～「q14\_6\_8\_na」)

報告書 316 頁に掲載されている問 14 の集計表において、表側の「誕生日」の数値に誤りがあります。正しい数値は以下の通りです。

		男性回答者 問14 60歳台で希望する雇用・就業形態⑥66歳の時								
		計	正社員として働く	契約社員や嘱託として働く	短時間勤務で働く	自営業を営む	親族や知人の事業を手伝う	ボランティア活動をする	仕事や社会的活動はしない	無回答
誕生日	昭和22年 (1947年)	108 100.0%	4 3.7%	8 7.4%	27 25.0%	8 7.4%	4 3.7%	35 32.4%	22 20.4%	14 13.0%
	昭和23年 (1948年)	106 100.0%	3 2.8%	8 7.5%	24 22.6%	14 13.2%	3 2.8%	30 28.3%	28 26.4%	20 18.9%
	昭和24年 (1949年)	136 100.0%	3 2.2%	15 11.0%	40 29.4%	6 4.4%	9 6.6%	47 34.6%	33 24.3%	14 10.3%
	昭和25年 (1950年)	137 100.0%	3 2.2%	19 13.9%	32 23.4%	9 6.6%	4 2.9%	53 38.7%	23 16.8%	15 10.9%
	昭和26年 (1951年)	127 100.0%	2 1.6%	13 10.2%	31 24.4%	11 8.7%	7 5.5%	44 34.6%	28 22.0%	13 10.2%